

第2章 社 会 教 育

1 公民館活動の充実

(1) 公民館事業の推進

【内 容】①学習機会の提供

- ・家庭の教育力の向上
家庭教育支援に関する学習機会や情報を提供する。
- ・青少年育成の推進
体験活動を通じて豊かな心を培い、実践力を身に付けるための学習機会を提供する。
- ・高齢者学習の推進
高齢者の生きがいがづくりや社会参加への契機となる学習機会を提供する。
- ・社会の要請に応じた学習の推進
社会の要請や今日的な課題に対応するための学習機会を提供する。
- ・まちづくり（地域再発見）の推進
地域の歴史や自然、文化等の学習を通じ地域を再発見し、まちづくりを考える機会を提供する。

②施設の提供

- ・地域の学習・交流拠点としての整備
- ・囲碁・将棋、卓球等への施設開放
- ・子育て支援の促進
地域が連携して子育てを支援する事業を展開し、身近な地域で安心して子育てができる場を提供する。

③情報の提供

- ・公民館報の配布・掲示
- ・旭川市ホームページや生涯学習ポータルサイト（まなびネットあさひかわ）による公民館事業の周知
- ・関連団体の行事や催し物等の周知

④活動支援

- ・社会教育関係団体や生涯学習活動団体の育成・支援

⑤地域支援

- ・「地域まちづくり推進協議会」との連携によるまちづくり事業の支援
- ・公民館クラブ事業等による地域の活動の支援
- ・家庭・地域・学校との連携による青少年などの活動の支援

⑥交流・連携

- ・公民館まつり、各種発表会、ミニギャラリー等の発表の場
- ・行政・教育機関、各種団体等との事業の連携・協力

⑦市民参加

- ・公民館フォーラムの開催
- ・市民との協働による公民館主催事業の企画・運営

(別表1)

【令和5年度目的別施設利用状況】

(単位：回，人)

区 分		学級・大学 講座・教室	講 演 会 講 習 会	学習会・練習会 研修会・研究会	会 議	大会・発表会 展 示 会	その他	合 計
生涯学習活動団体	回数	0	1	19,049	172	12	3	19,237
	人数	0	50	236,349	1,861	174	36	238,470
社会教育関係団体	回数	1	16	653	306	7	74	1,057
	人数	10	605	11,219	4,001	210	2,610	18,655
地 域 自 治 団 体	回数	0	5	67	601	0	26	699
	人数	0	191	1,151	10,584	0	607	12,533
社会福祉団体	回数	0	2	452	383	8	411	1,256
	人数	0	31	6,832	5,743	755	10,057	23,418
一 般 利 用	回数	50	69	4,912	900	274	213	6,418
	人数	1,146	1,498	55,656	13,828	21,519	3,385	97,032
行 政 機 関	回数	732	311	142	281	214	2,906	4,586
	人数	12,409	6,556	2,536	4,084	5,612	33,853	65,050
合 計	回数	783	404	25,275	2,643	515	3,633	33,253
	人数	13,565	8,931	313,743	40,101	28,270	50,548	455,158

(別表2)

【令和5年度目的別事業活動実績】

(単位：回，人)

区 分		学級・大学 講座・教室	講 演 会 講 習 会	大会・発表会 展 示 会	そ の 他	合 計
家庭教育支援	(事業数)回数	(4) 22	(49) 184	(0) 0	(0) 0	(53) 206
	人 数	237	2,335	0	0	2,572
青少年教育	(事業数)回数	(2) 8	(52) 113	(0) 0	(8) 149	(62) 270
	人 数	82	1,587	0	1,769	3,438
成人学習	(事業数)回数	(31) 214	(92) 226	(1) 1	(4) 5	(128) 446
	人 数	3,554	3,190	28	196	6,968
高齢者学習	(事業数)回数	(25) 815	(4) 29	(2) 2	(3) 42	(34) 888
	人 数	14,114	719	511	282	15,626
そ の 他	(事業数)回数	(0) 0	(0) 0	(27) 185	(70) 1,869	(97) 2,054
	人 数	0	0	11,554	12,176	23,730
分館事業	(事業数)回数	(0) 0	(3) 4	(0) 0	(4) 6	(7) 10
	人 数	0	69	0	65	134
合 計	(事業数)回数	(62) 1,059	(200) 556	(30) 188	(89) 2,071	(381) 3,874
	人 数	17,987	7,900	12,093	14,488	52,468

【令和6年度目的別事業活動計画】

区 分	対 象	事 業 名	事 業 予定数
家庭教育支援	乳幼児と保護者	子育てサロン, 子育て講座, 絵本の読み聞かせ ほか	23
	児童・生徒と保護者	親子陶芸教室, 親子ふれあい農業体験, 親子防災教室 ほか	28
	乳幼児・小学生と保護者	おはなし会, 親子豆腐作り体験講座 ほか	3
	保 護 者	育児講座	1
青少年教育	児 童 ・ 生 徒	囲碁・将棋教室 書き初め教室, 小学生木工教室 ほか	50
	児童・生徒と高齢者	シニア大学・百寿大学生との交流事業 ほか	8
成人学習	女 性 ・ 男 性	女性学級, 女性大学, 男だけの運動教室 ほか	5
	一 般 市 民	スマホ講座, そば打ち体験講座, 健康づくり講座 ほか	136
高齢者学習	高 齢 者	百寿大学, シニア大学・大学院 ほか	27
	一 般 市 民	百寿・シニア大学文化祭 ほか	4
団 体 育 成	一 般 市 民	サークル体験 ほか	7
そ の 他	一 般 市 民	公民館地域フォーラム, 公民館まつり, 木楽輪夢コンサート, 開放事業 ほか	81
分 館 事 業	地 区 住 民	趣味, 教養, 軽スポーツ ほか	8
合 計			381

(公民館事業課事業係)

(2) 高齢者の生きがい促進事業

ア 百寿大学

【始期・経過】 高齢期を迎えて豊かな人生を送ることができるよう、仲間と学び、社会との関わりの中で生きることの大切さを学ぶ機会として、昭和45年に北海道のモデル高齢者学級の指定を受け中央公民館で百寿大学を開設した。その後、各公民館でも取組を開始し、現在は市内全公民館で1年修了制で百寿大学を開設している。

【対 象】 60歳以上の市民

【開催状況】 16大学17学級の百寿大学を開設している。学習日は、月2回で、原則全日（午前・午後）としている。

【開設場所】 百寿大学は各公民館。ただし、しのめ百寿大学は東鷹栖公民館第1分館、緑が丘百寿大学は神楽公民館。

【学習内容】 高齢者の豊かな人生経験と多彩な能力を家庭や社会生活により一層生かすために、時代の進展に応じた高齢者の在り方や役割について学習する。

・学習区分 一般学習, 実技学習, 健康維持とレクリエーション, 現代的な課題, 国際理解, 世代間交流等

イ シニア大学・大学院

【始期・経過】 平成23年4月、中央公民館百寿大学を母体として、まちづくりの一翼を担う人材を輩出することを目的とし、名称の変更とともに体系的なカリキュラムに基づく学習内容を提供する4年制の大学としてシニア大学を開設した。

また、シニア大学院は、昭和59年5月、1年制の大学院（昭和60年度から2年制）として開設した中央公民館百寿大学大学院を母体として、平成23年4月、名称をシニア大学大学院に変更するとともに、大学4年間の成果を基盤に実践力を養う学習内容を提供（令和7年度まで）している。

【対 象】 60歳以上の市民

【開催状況】 シニア大学は、1年から4年までの4学級を、大学院は、1年と2年の2学級を開設している。学習日は、月2回で、全日（午前・午後）とし、そのほかにサークル活動、ボランティア活動を行う。

- 【開設場所】 フィール旭川7階（まちなか市民プラザ専用施設）
- 【学習内容】 大学及び大学院に設定された各目標の実現を目指し、教養を高め、地域社会への理解や参画に関わる講座、健康維持や介護予防に関わる講座、芸術文化に触れ生きがい創出する講座、高齢社会の問題や死生観を考える講座等、時代の変化に対応した内容を幅広く学習する。
- 【目 標】 ①教育目標 自主創造（大学）、社会参加と奉仕（大学院）
 ②生活目標 協力的に実践する（大学）、自己の役割を自覚し実践する（大学院）
 ③学習目標 基礎課程（大学1年）、発展過程（大学2年）、実践課程（大学3・4年、大学院）
- 【予 算 額】 1,389千円
- （公民館事業課事業係）

（3）地域を支えるシニア世代人材育成事業

- 【始 期】 平成23年度
- 【内 容】 高齢者の学びや活動の拠点となるシニア大学の運営を行うとともに、学びの成果を積極的に地域社会に生かすため、地域づくりやまちづくりを担う人材を高齢者学習の場から育成するほか、一般市民を対象に「まちなか講座」を実施する。
- 【令和5年度事業実績】 実績額 6,824千円
- 【予 算 額】 8,051千円
- （公民館事業課事業係）

2 図書館活動の充実

（1）図書館事業の推進

- 【内 容】 「旭川市子ども読書活動推進計画」に基づき、小・中学校の夏冬休み期間中の中央図書館月曜開館の実施や、関係団体と連携した事業の実施により子供の読書習慣の形成を図るほか、様々な世代を対象に、幅広く読書活動につながる取組を展開する。
- 【予 算 額】 1,524千円
- （中央図書館奉仕係）

3 科学館活動の充実

（1）科学館事業の推進

- 【始 期】 昭和38年度
- 【内 容】 自然科学の理解・普及・学習・研究を進めるため、各種事業活動を行う。
- 【令和5年度事業実績】 実績額 41,222千円
- ・実験実習事業、学校連携事業、情報提供事業、展示事業、基金活用事業など
- 【予 算 額】 2,077千円
- （科学館）

（2）旭川市科学館企画展・特別展の開催

- 【始 期】 平成17年度（特別展）、平成29年度（企画展）
- 【内 容】 市民に科学への興味や理解を深めてもらうことを目的として、企画展・特別展を実施する。

【令和5年度事業実績】 実績額 0千円（企画展「プラネタリウム100周年記念展」を実施）
 【予算額】 0千円（企画展「くらしに役立つ昆虫展」・企画展示「ヒグマの科学」を実施予定）

（科学館）

（3）旭川市科学館施設整備基金

【始 期】 令和2年度
 【内 容】 常設展示の整備，特別展・企画展を実施する財源として活用する。
 【令和5年度事業実績】 実績額 5,525千円
 ・常設展示室に展示「10TOWN（イチマルタウン）」を新設
 【予算額】 7,889千円

（科学館）

4 博物館活動の充実

（1）博物館事業の推進

【始 期】 昭和27年度
 【内 容】 人文・自然科学の理解・普及・学習・研究を進めるため，郷土学習などの各種事業活動を行う。
 【令和5年度事業実績】 実績額 296千円
 ・博物館体験学習，郷土学習に係る体験講座・解説の実施，ゆきんぼ解説，講演会など
 【予算額】 339千円

（博物館）

（2）旭川市博物館企画展の開催

【始 期】 平成5年度
 【内 容】 旭川市博物館において企画展を開催する。
 【開催実績】

	名 称	期 間	参加者数（人）
第93回	あさひかわの縄文遺跡～永山4遺跡の発掘調査成果～	令和4年4月23日～5月29日	3,916
第94回	まちのあゆみ～暮らしの移りかわり～	令和4年7月16日～8月28日	4,663
第95回	旭川市博物館収蔵品展 アイヌの宝～交易の民アイヌ～	令和4年11月3日～12月11日	3,152
第96回	あさひかわの縄文遺跡―神居古潭7遺跡の土器―	令和5年4月22日～5月28日	2,949
第97回	故久保敬親写真展～生命の輝きを追い続けて	令和5年7月15日～8月27日	5,279
第98回	アイヌのゴザ	令和5年11月23日～12月24日	1,609

【令和6年度事業計画】 予算額 546千円

・企画展の開催

①「ヒグマの民俗」

（開催期間：令和6年7月13日～8月25日）

②「旭川の川とわたしたち（仮）」

（開催期間：令和6年11月23日～12月28日（予定））

（博物館）

5 その他社会教育事業の推進

市民の生涯にわたる学習活動の振興については、教育行政に限らず、各行政分野の様々な施策を通して進めることが必要とされている。本市では、こうした生涯学習振興施策を総合的に推進するため「旭川市生涯学習推進本部」（事務局：社会教育課）を置き、生涯学習社会の実現に向けて取り組んでいる。

（社会教育課）

（１）生涯学習フェアの開催

【始 期】 平成3年度

【内 容】 市民の生涯学習に対する意識・意欲の向上を図るため、「学習成果発表機会の提供」「学習活動への参加機会の提供」「各種学習情報の提供」を目的とする生涯学習に関する各種事業を一堂に集め開催する。

【実 績】

年度	区分	期 間	場 所	参加団体	延べ入場者数(人)	事業費(千円)
R3		令和4年2月5日～ 2月27日	旭川市民文化会館 イオンモール旭川西等	作品パネル展7団体 講演会 1団体	—	415
R4		令和4年10月2日 令和5年2月4日・5日	旭川市民文化会館 旭川市神楽公民館	ステージ発表9団体 体験コーナー8団体 作品パネル展7団体 講演会 1団体	863	16
R5		令和6年2月3日・4日	旭川市民文化会館	ステージ発表16団体 体験コーナー12団体 作品パネル展11団体 講演会 1団体	1,220	14

【令和6年度事業計画】 予算額 20千円

・開催時期 令和7年2月予定

（社会教育課）

（２）生涯学習ポータルサイト（まなびネットあさひかわ）

【始 期】 平成15年度

【内 容】 生涯学習情報を市民に提供するため、生涯学習ポータルサイト（まなびネットあさひかわ）を運用する。

【令和5年度事業実績】 実績額 1,133千円

・生涯学習情報の新規登録及び更新
・講座・イベント情報の充実

（団体・サークル情報687件、講師・指導者情報97件、施設等情報333件＜令和6年3月末日現在＞）

【令和6年度事業計画】 予算額 1,133千円

・生涯学習情報の新規登録及び更新
・講座・イベント情報の充実

（社会教育課）

（３）自習スペースの開設・運営

【始 期】 平成23年度

【内 容】 中心市街地を經由して通学している学生をはじめ市民の方々が気軽に立ち寄って勉強や読書ができるオープンスペースをまちなか市民プラザ（フィール旭川7階）内に開設・運営する。

【利用実績】

年度	R 3	R 4	R 5
学 生（人）	7,322	8,477	9,028
その他（人）	2,918	4,374	5,299
合 計（人）	10,240	12,851	14,327

※数値は、午前10時、正午、午後2時の定時実数カウントの合計値（土曜・日曜・祝日を除く。）

（社会教育課）

（4）家庭教育支援事業

【内 容】 少子化、核家族化等が進む今日の社会において、家庭教育支援プロジェクトを組織し、家庭教育に関する情報の収集及び提供、講座等による啓発活動や家庭教育学習支援の充実、家庭教育学習団体の育成・支援を通じて、家庭教育の総合的な支援を図る。

ア 家庭教育支援プロジェクト

【始 期】 平成22年5月発足

・社会教育課を事務局とし、関係部局や民間機関と連携して各種事業を実施

【令和5年度事業実績】 実績額 39千円

家庭教育支援プロジェクトの実施状況

- ・家庭教育に関する情報の収集及び提供
- ・家庭教育に関する研修会の実施
- ・家庭教育学習団体の育成・支援

【令和6年度事業計画】 予算額 78千円

家庭教育支援プロジェクトの実施

- ・家庭教育に関する情報の収集及び提供
- ・家庭教育に関する研修会の実施
- ・家庭教育学習団体の育成・支援

（社会教育課）

（5）地域・学校交流推進事業

【始 期】 平成元年度

【内 容】 児童生徒と地域住民との交流活動を推進するとともに、市民の生涯学習の推進と地域コミュニティの活性化に寄与するため、地域、学校、家庭が連携して行う各種事業の推進を図る。

【事業実績】 実績額 20千円

ア サークル活動（忠和中、朝日小、東光中、新町小、北光小の各交流スクール）

区分 \ 年度	R 3	R 4	R 5
登 録 サ ー ク ル 数	—	—	2
登 録 人 数 （ 人 ）	—	—	102
延べ活動回数（回）	—	—	18

【予 算 額】 75千円

（社会教育課）

（6）20歳を祝うつどい

【目 的】 人生の節目である20歳を祝い、その前途を激励する。

【令和5年度事業実績】 実績額 718千円

令和5年度20歳該当者（平成15年4月2日～平成16年4月1日生まれの人）

- ・開催日 令和6年1月7日（日）
- ・会場 市民文化会館

【令和6年度事業計画】 予算額 845千円

令和6年度20歳該当者（平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれの人）

- ・開催日 令和7年1月12日（日）
- ・会場 市民文化会館

（社会教育課）

（7）地域学校協働活動推進事業

【始 期】 令和3年度

【内 容】 幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、地域と学校が相互にパートナーとして行う連携・協働を推進する。

【令和5年度事業実績】 実績額 41千円

- ・モデル地域における、学校と地域の活動のコーディネート
- ・地域住民を対象とした研修会の実施

【令和6年度事業計画】 予算額 189千円

- ・地域住民を対象とした研修会等の実施
- ・地域住民等が関わりやすい環境や体制づくり
- ・モデル地域における、学校と地域の活動のコーディネート
- ・新たなモデル地域の検討

（社会教育課）

（8）ジオパーク構想の推進

【始 期】 平成28年度

【内 容】 本市及び周辺地域におけるジオパーク構想を推進するため、推進体制の整備及び普及事業を行う。

【令和5年度事業実績】 実績額 2,000千円

- ・周辺7町及び構成7団体との連携
- ・講座及びジオツアー等地域資源を活かした事業の実施
- ・ジオサイト調査

【令和6年度事業計画】 予算額 16,100千円

- ・周辺7町及び構成7団体との連携
- ・講座及びジオツアー等地域資源を活かした事業の実施
- ・地域おこし協力隊（ジオパーク専門員）配置による運営体制の強化

（社会教育課）

6 文化芸術活動の振興

（1）市民文化の向上

ア 旭川市文化賞（昭和23年度創設）

【内 容】 旭川市の文化（芸術・科学・教育）の発展に大きく貢献したと認められる個人及び団体に対し、毎年11月3日（文化の日）に文化賞、文化奨励賞及び文化功労賞を贈呈する。

文化功労賞の贈呈は、平成17年度から新たに実施している。

【受賞内容】 昭和23年度から令和5年度までの受賞内容及び受賞者数は、次のとおり。

- ・文化賞 83人
- ・文化奨励賞 個人 97人 内訳 芸術関係 163件
団体 48団体 科学関係 25件
- ・文化功労賞 個人 17人 教育関係 63件
団体 6団体 計 251件
- ・文化賞・文化奨励賞・文化功労賞…賞状及び記念品を授与

【受賞者】

区分 年度	文 化 賞			文 化 奨 励 賞			文 化 功 労 賞		
	部門	区分	氏 名	部門	区分	氏 名	部門	区分	氏 名
R 3	芸術	絵本作家	あべ 弘士	芸術	文学	柴田 望	芸術	文学	秋岡 康晴
R 4	該当者なし			芸術	写真	谷口 雅彦	芸術	彫刻保全	旭川彫刻サポート隊
				教育	理科教育	北海道旭川北高等学校 校理科実験研究部			
R 5	芸術	陶芸	千尋 悠子	芸術	吹奏楽	学校法人旭川宝田学園旭 川明成高等学校吹奏楽部	芸術	書道	旭川書道連盟

【予算額】 461千円

(文化振興課)

イ 小熊秀雄賞（昭和43年度創設）

【内 容】 旭川市ゆかりの詩人小熊秀雄の業績を顕彰して、優れた現代詩集に小熊秀雄賞を贈呈している文化団体に対して、事業費の一部を助成している。主催する文化団体は、平成19年度（第40回）までは旭川文化団体協議会、平成20年度（第41回）からは小熊秀雄賞市民実行委員会。

【受賞者及び作品】

年度	区分	受 賞 者	作 品
R 3（第54回）		富岡 悦子	反暴力考
		高岡 修	蟻
R 4（第55回）		津川エリコ	雨の合間 ー Lull In The Rain
R 5（第56回）		鎌田 尚美	持ち重り

【予算額】 450千円（補助金）

(文化振興課)

ウ 旭川ななかまど文化賞（昭和51年度創設）

【内 容】 市民で組織された「旭川ななかまど文化賞協議会」が、芸術芸能の発表を通じて市民の文化水準の向上に大きく貢献した方に対し「旭川ななかまど文化賞」を贈呈している。

この賞の選考等も、同協議会が行っており、事業は独自財源で実施している。

【対 象 者】 対象期間内に市民文化会館・公会堂・大雪クリスタルホール・道北アークス大雪アリーナ・市民ギャラリー・市民活動交流センターC o C o D e・神楽公民館木楽輪において芸術・芸能作品を発表した個人又は団体

【受賞者】

年度	区分	個人の部	団体の部
R 3（第45回）	該当者なし		企 画 旭川ドリームの会
			写 真 ウレシパあさひかわ
R 4（第46回）	美 術 藤林 利朗	音 楽 鳥谷部 美帆	該当者なし
R 5（第47回）	該当者なし		ダンス レイアロハフラススタジオ旭川
			写 真 谷口雅彦写真アーカイブ室・あさひかわ写真アーカイブ研究会

(文化振興課市民文化会館)

エ 文化芸術団体等練習活動場所への支援

【内 容】 上川倉庫株式会社より倉庫を借り受け、自主運営を行っているリハーサルホール運営委員会に対し、運営費の一部を助成することで、国の登録文化財である歴史的な建物の有効利用と街並み景観保存を図り、また、練習施設の効率的な運営と利用者サービスの向上を図る。

【練習施設概要】

- ・施設名称 リハーサルホール
- ・所 在 地 旭川市宮下通11丁目 上川倉庫蔵囲夢内
- ・施設面積 床全面フローリング 165㎡（約50坪）
- ・付帯設備 セミコンサート用グランドピアノ、音響設備一式
- ・利用時間 午前9時～午後10時まで（午前・午後・夜間の3区分）

【実 績】

年度 分	区	助成額（千円）	延べ利用回数（回）	利用団体（団体）
R 3		2,000	528	18
R 4		2,140	705	20
R 5		2,140	803	21

【予 算 額】 2,140千円

（文化振興課）

オ 文化芸術活動への助成

【内 容】 公募型の補助金助成制度により、文化芸術関係団体が実施する音楽、演劇等の文化芸術活動に対して、事業費の一部を助成し、市民の自主的な文化芸術活動を支援している。

【実 績】

年度 区分	件 数（件）	補助額（千円）
R 3	4	300
R 4	12	955
R 5	14	750

【予 算 額】 1,073千円

（文化振興課）

（2）旭川文学資料館運営事業

【始 期】 平成23年度

【内 容】 平成13年度から旭川ゆかりの文学者・文学作品に関する各種資料の収集、整理及び研究調査を市民との協働により開始し、その散逸を防ぎ次世代に継承するとともに広く市民に紹介するため、平成21年5月に旭川市常磐館内に旭川文学資料館を開設した。平成23年度からは同資料館の運営を委託形式に移行し、市民の文学活動の推進と文学の振興を図っている。

- ・文学資料展示業務（展示の企画、展示物の作成、来館者等への対応など）
- ・文学資料調査研究業務（文学資料の収集・分類整理、データベース作成など）
- ・文学普及業務（企画展・読書会等の企画・実施、印刷物の作成など）

【予 算 額】 6,938千円

（文化振興課）

（3）井上靖記念館エッセーコンクール事業

【始 期】 平成24年度

【内 容】 井上靖の偉業を顕彰し、青少年の文学への関心や資質を高めることを目的に、全国の中学生、高校生を対象としたエッセーコンクールを北海道新聞社との共催により実施する。（※平成26年度から井上靖記念館は指定管理者制度を導入したため、この事業は指定管理者として実施）

【事業実績】

区分 年度	募集テーマ	応募数		入賞
R3	間	377編 ・中学生の部 ・高校生の部	277編 100編	最優秀賞2, 優秀賞4, 佳作4, 井上靖ナナカマドの会賞2
R4	美	294編 ・中学生の部 ・高校生の部	209編 85編	最優秀賞2, 北海道新聞社賞2 優秀賞2, 佳作4, 井上靖ナナカマドの会賞2
R5	歌	261編 ・中学生の部 ・高校生の部	197編 64編	最優秀賞2, 北海道新聞社賞2 優秀賞2, 佳作4 井上靖ナナカマドの会賞2

【令和6年度事業計画】

・作品募集, 審査会開催, 表彰式開催

(文化振興課)

(4) 市民ギャラリーの運営

【内 容】 利便性のよい市中心部で, 市民等が気軽に作品展示・発表等を行う場を設けることで, 文化・芸術活動を促進し本市の文化振興を図るとともに, 中心市街地の賑わいづくりに寄与するため, 上川倉庫蔵囲夢内において, 市民ギャラリーを開設している。

【ギャラリー概要】 ・所在地 旭川市宮下通11丁目 上川倉庫蔵囲夢内
・施設面積 約100㎡ (展示エリア)

【予算額】 6,762千円

(文化振興課)

(5) 優佳良織の普及促進

【始 期】 令和6年度

【内 容】 優佳良織工芸の観光資源, 地域産業としての発展のため, これまで育成を支援してきた織子の更なるスキルアップと優佳良織体験の実施による同工芸の普及促進を図る。

【予算額】 4,329千円 (優佳良織普及促進事業補助金)

(文化振興課)

7 文化財の保護

(1) 文化財保護

昭和38年3月29日 旭川市文化財保護条例制定 昭和38年5月10日 旭川市文化財審議会発足

ア 国指定文化財

①アイヌ古式舞踊 (重要無形民俗文化財)

- ・保護団体 旭川チカップニアイヌ民族文化保存会 ・会 員 50人
- ・指 定 昭和59年1月21日
- ・概 要 北海道一円に居住しているアイヌの人たちによって伝承されている芸能で, 祭祀の祝宴や様々な行事に際して踊られる。アイヌ独自の信仰に根ざしている歌舞で, 信仰と芸能と生活が密接不離に結びついているところに特色がある。

②旧旭川偕行社 (重要文化財)

- ・員 数 1棟
- ・所在地 旭川市春光5条7丁目 ・指 定 平成元年5月19日

- ・所有者 旭川市
- ・管理者 旭川市教育委員会
- ・概要 明治35年に建設された旧第七師団施設の一つ。明治後期の木造洋風建築の典型的なスタイルで、この年代の建築が全国的にみて数少なく極めて貴重な例とされている。昭和43年に建設当初の姿に復元し、市立旭川郷土博物館として使用した後、平成6年度から彫刻美術館として使用している。なお、平成24年度より大規模改修工事を実施し、平成28年度に工事が完了した。

イ 北海道指定文化財

①神居古潭竪穴住居遺跡（史跡）

- ・所在地 旭川市神居町神居古潭
- ・指定 昭和32年12月17日
- ・所有者 北海道開発局
- ・管理者 旭川市教育委員会
- ・概要 石狩川の左岸、神居古潭つり橋から約1.5km下流の地点に所在し、その面積は約3.5haで、現この地域内には竪穴二百数十基とチャシコツ（砦跡）1か所が存在している。昭和33年以来そのうちの数基が発掘調査されている。住居は、一辺の長さ約5mの方形で深さ約1m、内部には炉、柱穴、カマドが作られている。主な遺物には擦文式土器、紡錘車などがあり、構築時期は奈良時代末期から平安時代にかけてと思われる。

②屯田兵絵物語附屯田絵巻（歴史資料）

- ・員数 5点（屯田物語原画綴 1冊、屯田絵巻 4巻）
- ・保管場所 旭川兵村記念館
- ・指定 平成28年3月31日
- ・所有者 一般財団法人 旭川兵村記念館
- ・管理者 一般財団法人 旭川兵村記念館
- ・概要 大分県から旭川屯田に入植した屯田兵により作成され、小樽に上陸してから旭川兵村へ移動する様子、入植地の開墾、屯田兵としての訓練、生活の様子などが、克明に描かれている。彩色図と解説で構成されており、屯田兵と地域社会の歴史を詳細に伝える貴重な資料である。

ウ 旭川市指定文化財

①上川郡農作試験所事務所棟（忠別太駅通第一美英舎）（建造物）

- ・員数 1棟
- ・所在地 旭川市神居1条1丁目
- ・指定 昭和41年1月15日
- ・所有者 旭川市
- ・管理者 旭川市教育委員会
- ・概要 上川地方に現存する最古の建物で、明治19年8月道庁の農作試験所として建設された。その後種々の経過を経て、明治22年駅通として開設した。建物は長年の使用により改造されているが、かなり原型をとどめていた。この建物は、洋風建築様式が浸透してきた当時の本道の住宅様式を伝えるものとして注目されている。昭和62年度に調査保存のため解体し昭和63年度に復元した。

②近文山国見の碑（史跡）

- ・員数 1基
- ・所在地 旭川市江丹別町嵐山（国有林野内）
- ・指定 昭和41年1月15日
- ・所有者 旭川市
- ・管理者 旭川市教育委員会
- ・概要 明治18年8月27日に、後の北海道初代長官岩村通俊と屯田兵本部長永山武四郎らが石狩川奥地調査に来て、近文山山頂から未開の上川平野を国見し上川開拓を決意したのを記念して、明治19年岩村が国見の碑を建立させた。この石碑は上川最古のものである。

③梅の木（天然記念物）

- ・員数 1本（白梅）
- ・所在地 旭川市東旭川町米原（旧旭川第1小学校校庭）
- ・指定 昭和41年1月15日
- ・所有者 旭川市
- ・管理者 旭川市教育委員会
- ・概要 樹齢が100年を超えると推定される紅白2本の梅は、北限地帯で生育するものとしての標本的価値ばかりでなく、樹齢とその巨大な点においても上川地方では稀有なものである。なお、紅梅は平成12年に枯死していることが確認され、平成13年4月に伐採された。

④神居古潭おう穴群（天然記念物）

- ・所在地 旭川市神居町神居古潭
- ・指定 昭和41年7月25日
- ・所有者 北海道開発局
- ・管理者 旭川開発建設部
- ・概要 このおう穴群は、神居古潭變成岩層が石狩川に浸蝕された部分にみられ、全長1,200mの間に大きく分けて7つの群をなして分布している。大きいものは直径5mあり、規模からみてもこのおう穴群は地学上貴重な存在である。

⑤永山屯田兵屋（建造物）

- ・員数 1棟
- ・所在地 旭川市博物館
- ・指定 昭和45年7月6日
- ・所有者 旭川市
- ・管理者 旭川市教育委員会
- ・概要 上川地方の代表的な建造物として屯田兵屋が挙げられる。明治23年永山に、明治24年東旭川に各400戸建設されたが、現在両地区では原型を残しているものはほとんどない。この建物は、明治24年永山屯田に入植した人が使用したもので、昭和45年に偕行社の隣に移転復元したが、現在旭川市博物館の内部に展示している。

⑥養蚕民家（建造物）

- ・員数 1棟
- ・所在地 旭川市東旭川町瑞穂1576-1
- ・指定 昭和48年3月19日
- ・所有者 旭川市
- ・管理者 旭川市教育委員会
- ・概要 明治31年にこの地に入植した福島団体の一員が、明治42年に郷里の福島地方の養蚕民家を模して建てたもので、現在では、道内はもちろん郷里福島にも見られないほど原型を保っている。上川開拓に関わる資料として貴重なものである。平成2年度に解体、平成3年度に復元、平成19年度には茅の葺替えなどの全面的な補修を行った。

⑦旭川兵村（東旭川屯田）中隊記録（歴史資料）

- ・員数 121冊
- ・保管場所 旭川兵村記念館
- ・指定 昭和56年2月20日
- ・所有者 一般財団法人旭川兵村記念館
- ・管理者 一般財団法人旭川兵村記念館
- ・概要 旭川兵村（東旭川屯田）中隊記録は、明治25年に配置された第三大隊第三中隊（東旭川下兵村）第四中隊（東旭川上兵村）の実態を明らかにする資料であり、屯田を中心とした地域社会の資料としても希少価値がある。また、他の資料との比較検討等により北海道屯田兵及び地域社会に関する歴史を追求する可能性を多くもった類のない資料で、旭川市の歴史的遺産として貴重な資料である。

⑧錦町5遺跡出土の斧柄（考古資料）

- ・員数 1点
- ・保管場所 旭川市博物館
- ・指定 昭和61年8月20日
- ・所有者 旭川市
- ・管理者 旭川市教育委員会
- ・概要 昭和58年、旭川市教育委員会が発掘調査を行った錦町5遺跡の擦文時代（約1,000年前）の旧河川跡から出土した。木製品は腐食しやすく、極めてまれな出土例である。

⑨蔵手刀（考古資料）

- ・員数 1点
- ・保管場所 旭川市博物館
- ・指定 昭和61年8月20日
- ・所有者 旭川市
- ・管理者 旭川市教育委員会
- ・概要 8世紀のころの東北、北海道の古墳等からしばしば発見されるもので、本資料は昭和の初め恵庭市で採集された。保存状態もよく擦文文化を考える上で貴重な資料である。

⑩旧神居古潭駅舎（建造物）

- ・員数 2棟（旧駅舎、便所）
- ・所在地 旭川市江丹別町春日197-1
- ・指定 平成3年3月15日
- ・所有者 旭川市
- ・管理者 旭川市
- ・概要 本駅舎は明治43年に建設され、平成元年度に復元が行われた。明治時代の駅舎建築として数

少ない例であり、北海道の鉄道発展史を考える上でも貴重である。平成21年度、「駅本屋附属便所」の改修工事を行った。

⑪第七師団関係記録（歴史資料）

- ・員 数 7冊
- ・保管場所 陸上自衛隊旭川駐屯地北鎮記念館 ・指 定 平成18年3月30日
- ・所 有 者 国 ・管 理 者 陸上自衛隊
- ・概 要 軍事関係史料の極度に乏しい中であって、創設より解散直前に至る間の、平時・戦時を問わずほぼ一貫して第七師団の動向と事歴をうかがうことのできる好個の資料
 （1）師団歴史、（2）満洲駐紮間留守師団歴史、（3）樺太守備隊司令部歴史の3種類があるが、いずれも「軍事機密」・「保存年限永久」として時々編・追録されたもので、各団体が存置されていた全期間を通じてその動向を記録したものである。

⑫知里幸恵遺稿ノート（歴史資料）

- ・員 数 1冊
- ・保管場所 旭川市博物館 ・指 定 平成18年3月30日
- ・所 有 者 旭川市 ・管 理 者 旭川市教育委員会
- ・概 要 知里幸恵が初めてアイヌ語と日本語の対訳形式で表した神謡稿。旭川市に残る唯一の、知里幸恵直筆筆記とされ、「アイヌ神謡集」が誕生するまでの経過をうかがわせる貴重な資料

⑬旭川兵村中隊記録（歴史資料）

- ・員 数 26冊
- ・保管場所 旭川兵村記念館 ・指 定 平成18年3月30日
- ・所 有 者 一般財団法人旭川兵村記念館 ・管 理 者 一般財団法人 旭川兵村記念館
- ・概 要 明治25年旭川村字ウシシュベツに配備された、屯田歩兵第三大隊第三中隊・第四中隊は、明治32年の解散後、旧第三大隊が屯田後備役下東旭川兵村、旧第四中隊が屯田後備役上東旭川兵村と呼称されるに至った。この兵村に関する史料の大部分は昭和56年に文化財に指定されているが、旭川兵村記念館ではその後も関係史料の収集に努め、旭川市が昭和55年に札幌市内の古書店から購入した25部と、屯田関係者が記念館に寄贈した「中隊履歴」が平成18年に文化財に追加指定された。

エ 国登録有形文化財

①～⑦上川倉庫（事務所、一号倉庫、二号倉庫、三号倉庫、八号倉庫、十号倉庫、十一号倉庫）

- ・員 数 各1棟（計7棟）
- ・所 在 地 宮下通11丁目 ・所 有 者 上川倉庫株式会社
- ・概 要 J R旭川駅前の約0.5ヘクタールの敷地を占める上川倉庫群は、グリッド状街路網の1区画分を囲むように配置されている。平側で通りに面し、敷地正面の事務所西側に位置する木骨煉瓦造平屋建の一号倉庫は、現在多目的ホールとして市民に広く活用されている。

⑧あさでん春光整備工場（旧陸軍第七師団騎兵第七連隊覆馬場）

- ・員 数 1棟
- ・所 在 地 春光3条7丁目 ・所 有 者 旭川電気軌道株式会社
- ・概 要 市街北部に位置する。積雪時の軍馬訓練用に作られた切妻造煉瓦建造物。用途を考慮して、良好な換気と採光が意図され、越屋根や屋根窓等の開口部を多く設ける。控え壁付の柱に、鉄製フィンクトラス架構が載り、建築面積1,000平方メートル超の大空間を創り出している。

⑨松岡家住宅

- ・員 数 1棟
- ・所 在 地 6条通13丁目 ・所 有 者 個人所有
- ・概 要 市中心部、幹線道路が直交する角地に建つ。L字型平面、入母屋造の和館に、切妻造の洋館が接続する。和館の細い押縁付の板張壁と上部の小壁、洋館の柱型と段状のコーニスで囲まれたドイツ壁が対照的な外観を呈し、地域のランドマークとして親しまれている。

⑩最創山光岸寺本堂

- ・員 数 1棟
- ・所 在 地 東鷹栖東1条3丁目
- ・所 有 者 宗教法人光岸寺
- ・概 要 市北東部、国道40号に面する境内の奥に建つ。正面は欄間等に丁寧な彫物を施した桁行3間の向拝が唐破風屋根に覆われる。本堂は立ちが高く、軒下の小壁に墓股を配した裳階を廻し、組物と墓股を多用した華やかな内部空間を持つ。道内で有数の本格的寺院建築。

⑪旧岡田家住宅主屋

⑫旧岡田家住宅蔵

- ・員 数 各1棟（計2棟）
- ・所 在 地 5条通16丁目
- ・所 有 者 一般財団法人旧岡田邸200年財団
- ・概 要 旭川市街に建つ、元酒造家の住宅（主屋、蔵）。主屋外観は洋風であるが、玄関ホールや応接室等は数寄屋風の座敷とする。玄関のステンドグラスや階段廻りなどにアール・デコ風の意匠を凝らす。陸屋根の什器蔵は外観下半が横目地入、上半が平滑なモルタル塗で二階建に見せ、内部は三層の木造床を張る。

⑬山崎家住宅主屋

- ・員 数 1棟
- ・所 在 地 曙2条3丁目
- ・所 有 者 個人所有
- ・概 要 木造二階建て、西正面の外観を、玄関と二階の切妻屋根が引き締める。外観は色モルタル塗で腰は鎧下見板張。ペチカのある居間を中心とした平面で、南西に子供室、北に食堂と台所、東側に和室の座敷などを連ねる。二階は書斎と事務室である。良材を用いた上質な住宅。

⑭旭川市市民活動交流センター市民活動支援棟（旧国鉄旭川車両センター木機乾燥場）

⑮旭川市市民活動交流センターホール棟（旧国鉄旭川車両センター第二木機職場）

- ・員 数 各1棟（計2棟）
- ・所 在 地 宮前1条3丁目
- ・所 有 者 旭川市
- ・概 要 旭川駅南東の車両センター跡地に建つ2棟の煉瓦造建築。外壁は煉瓦をフランス積とし、壁面に様々なアーチの開口を設け、ペディメントや隅柱に焼過煉瓦を効果的に用いる。列車の木部造作に関する作業などを行った建物で、明治期の鉄道施設として希少な遺構。

⑯北海道護国神社平成館（旧陸軍第七師団北鎮兵事記念館）

- ・員 数 1棟
- ・所 在 地 花咲町1丁目
- ・所 有 者 北海道護国神社
- ・概 要 神社境内の南東に建つ、鉄筋コンクリート造一部二階地下一階建。中央部の正背面を張出し、切妻造の屋根も中央を高めて強調する。屋根の大棟や降棟に鬼を置き、破風に懸魚を飾る。白壁の腰を石張として城郭風に見せるなど、当時の日本趣味意匠の一端を示す。

※登録日

①～⑩ 平成13年11月20日、⑪～⑬ 平成25年6月21日、⑭～⑯ 平成27年11月17日

オ 郷土芸能の保存

- 【内 容】 神楽獅子舞保存振興会など9団体で構成する旭川郷土芸能保存連合会が郷土芸能の保存・伝承に努めており、その運営費を助成している。
- 【予 算 額】 400千円（補助金）

カ 文化財の保存整備

- 【内 容】 市指定文化財など文化財の保存整備を行っている。
- 【予 算 額】 5,872千円

キ 埋蔵文化財の発掘調査

- 【内 容】 埋蔵文化財の包蔵地は、令和5年度末までに216か所台帳に登載されている。これらの包蔵地は、文化財保護法による保護対象地となっている。

- 【事業実績】 令和3年度：2件（永山4遺跡発掘調査（前年度からの継続）、豊岡4遺跡発掘調査）
 令和4年度：発掘調査なし
 令和5年度：発掘調査なし

（文化振興課）

8 アイヌ文化の伝承・保存

平成15年に策定した「旭川市アイヌ文化振興基本計画」に基づき、アイヌ文化の振興と理解の促進のため、各種施策を推進する。

（１）アイヌ文化の伝承

ア アイヌ文化に親しむ日の開催

- 【内 容】 11月3日の文化の日にあわせ、アイヌ文化を紹介するイベントを開催する。
 【予 算 額】 265千円

イ アイヌ民族音楽会の開催

- 【内 容】 小・中学校（10校）を会場としアイヌ民族の音楽や舞踊などを体験することができる音楽会を開催する。
 【予 算 額】 725千円

ウ アイヌ文化ふれあいまつりの開催

- 【内 容】 中心市街地を舞台に、アイヌ文化伝承者による芸能や工芸等を広く市民や観光客に紹介する。
 【予 算 額】 847千円

エ アイヌ語地名表記の推進

- 【内 容】 地域の人々に身近で親しまれている地名などのアイヌ語について、市民の関心や理解を深めるため、日本語名とアイヌ語名を併記した表示板を設置する。
 また、アイヌ語地名の理解・周知を目的に地名ツアーを開催する。
 【予 算 額】 557千円

オ アイヌ語等講座の開催

- 【内 容】 アイヌ文化への理解を深めるため、アイヌ語やアイヌの刺繍に関する講座を開催する。
 【予 算 額】 291千円

カ アイヌ文化情報コーナー「ル・シロシ」の運営

- 【内 容】 旭川駅構内に整備したアイヌ民族の歴史や文化を紹介する情報コーナーを運営することで、市民や観光客がアイヌ民族の歴史や文化に触れる機会を創出し、アイヌ文化に対する理解の促進を図る。
 【予 算 額】 160千円

キ 博物館のアイヌ施策推進機能充実事業

- 【内 容】 収蔵するアイヌ民族資料のレプリカの製作、児童生徒が博物館やアイヌ記念館でアイヌ文化を学習・体験するプログラムなどを行う。
 【予 算 額】 3,990千円

（博物館）

ク アイヌ団体との連携事業

【内 容】 川村カ子トアイヌ記念館や知里幸恵資料の所在を紹介する印刷物を作成するとともに、アイヌ団体の自主的な文化伝承活動を促進する事業等を実施する。

【予 算 額】 8,200千円

ケ アイヌ文化伝承事業への補助

【内 容】 アイヌ文化の普及を目的としてアイヌ団体が開催する各種伝承事業の実施を支援する。

【予 算 額】 30千円

(文化振興課)

9 文化ホール活動の推進

(1) 自主文化事業

ア 市民文化会館

【内 容】 市民に優れた音楽・舞台芸術及び伝統芸能等を低料金で鑑賞する機会を提供し、文化芸術の振興を図る。

【事業実績】

年度\区分	事業名	会場	実施日	入場者数(人)	事業費(千円)
R 3	高校生のための演劇技術講習会	公会堂	5月1日	57	0
	バックステージツアー	大ホール	8月14日	9	0
	札幌交響楽団 旭川公演	大ホール	11月23日	1,055	5,700
	声優朗読劇	大ホール	12月26日	382	4,042
	ACAG-ART 2 1	展示室	12月22日 ～26日	349	0
R 4	高校生のための演劇技術講習会	公会堂	5月14日	50	0
	万作の会 狂言公演	大ホール	7月13日	1,039	4,009
	NHK公開番組「民謡魂 ふるさとの唄」	大ホール	11月13日	701	0
	熱帯JAZZ楽団公演	大ホール	12月9日	487	5,932
	ACAG-ART 2 2	展示室	12月21日 ～25日	423	0
	高校生のための演劇ワークショップ	公会堂	1月21日 ・22日	26	0
	避難訓練コンサート	大ホール	2月19日	670	0
R 5	高校生のための舞台技術講習会	公会堂	5月7日	60	0
	夏休み!バックステージツアーVol. 8	大ホール	8月9日	24	0
	キーウ・クラシック・バレエ 「白鳥の湖 全2幕」	大ホール	9月30日	1,142	5,038
	宝くじまちの音楽会 「南こうせつwithウー・ファン ～心のうたコンサート～」	大ホール	11月14日	1,477	454
	ACAG' 2 3	展示室	12月20日 ～24日	483	0
	旭川市消防音楽隊 避難訓練コンサート	大ホール	1月27日	340	0

【令和6年度事業計画】 予算額 13,123千円

事業名	会場	実施予定日
高校生のための舞台技術講習会	公会堂	5月6日
きかんしゃトーマスファミリーミュージカル	大ホール	8月9日
夏休みバックステージツアー	大ホール	8月21日
旭川市消防音楽隊避難訓練コンサート	大ホール	10月27日
NHKのど自慢	大ホール	11月10日
札幌交響楽団旭川公演	大ホール	11月16日
ACAG'24	展示室	12月下旬

(文化振興課市民文化会館)

イ 大雪クリスタルホール音楽堂

【内 容】 音楽堂（597席）の優れた響きを生かし、質の高い音楽の鑑賞機会を安価で市民に提供するとともに、音楽文化振興に励む市民活動を支援することにより、文化の香り高いまちづくりに寄与する。事業立案に当たっては、市民アンケート、音楽団体の意見、専門家の助言等を参考にしている。ホールメイト会員へのチケット発売前予約サービスを行うほか、市民ボランティア参画による演奏会時の会場案内等を行っている。

【令和5年度事業実績】 実績額 4,442千円

開催日	事業名	入場者数（人）
8月6日	みんなあつまれ！「夏休みファミリーコンサート」	295
8月27日	開館30周年記念「アニバーサリーコンサート」	477
9月18日	レア・デザンドレ&トーマス・ダンフォードデュオリサイタル	221
11月23日	あなたにエール♪	10
12月16日	沖仁ギターリサイタル	567
1月7日	冬休み子ども音楽講座	35
3月3日	ウインターコンサート	375

【令和6年度事業計画】 予算額 4,782千円

開催日	事業名
8月5日	西川悟平トーク&ピアノコンサート
9月22日	旭川クリスタル・プラスコンサート♪～華麗なるブラスアンサンブルの響き
11月4日	あなたにエール♪
12月14日	奥村愛～キッズのためのはじめての音楽会
1月11日	冬休み子ども音楽講座
3月2日	ウインターコンサート

(文化振興課大雪クリスタルホール)

10 彫刻のまちづくりの推進

(1) 中原悌二郎賞

【始 期】 昭和45年度創設

【内 容】 日本の近代彫刻史に不滅の足跡を残した旭川市ゆかりの彫刻家中原悌二郎の偉業を顕彰し、あわせて現代の日本彫刻界の振興に寄与することを目的として、昭和45年に創設した。

令和5年度までに43回開催し、中原悌二郎賞及び同優秀賞は延べ90人が受賞している。なお、平成15年度の第33回からビエンナーレ方式（隔年開催）で実施し、平成21年度の第36回からは本賞のみを贈呈している。

受賞作品は旭川市で購入し、中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館をはじめ、市内の公共施設や野外に設置し、“芸術・文化の香り高いまちづくり”に貢献している。

【受賞者及び作品】

年度	中 原 悌 二 郎 賞	
	受 賞 者	作 品
R元 (第41回)	三 沢 厚 彦	Animal 2018-01
R3 (第42回)	西 野 康 造	Walking in the Sky
R5 (第43回)	中 谷 ミチコ	デコボコの舟

【令和6年度事業計画】 予算額 514千円

- ・第44回中原悌二郎賞選考実施に向けた整備（選考資料収集等）

（文化振興課彫刻美術館）

（2）彫刻美術館事業活動事業

【始 期】 平成6年度

【内 容】 彫刻美術館及び彫刻美術館ステーションギャラリーにおける各種展示活動や教育普及活動を通し、広く生涯学習の場を提供する。

【令和5年度事業実績】 実績額 4,241千円

①企画展の開催

- ・彫刻美術館

開 催 日	展 覧 会 名	観覧者数（人）
4月1日～10月15日	触覚空間を描く ―彫刻家の素描(デッサン)―	2,520
10月21日～2月18日	椎名澄子彫刻展「風にふれて」	1,045
2月27日～3月31日	みて、ふれて、彫刻巡回展示のなかまたち	324

- ・彫刻美術館ステーションギャラリー

開 催 日	展 覧 会 名	観覧者数（人）
4月1日～5月7日	彫刻家による 版画の世界	796
5月13日～6月11日	齋藤健昭彫刻展 風のかたち・日の象	1,067
6月15日～7月18日	北海道の建築 巡回展2023	1,431
7月21日～8月15日	「小浜亀角のアイヌ画」展	846
8月18日～10月1日	チェアーズギャラリー I期	1,610
10月7日～1月8日	まなざしのゆくえ ―その先にある”何か”	1,653
1月13日～3月21日	チェアーズギャラリー II期	1,675
3月26日～3月31日	第19回パレットのなかま展	169

②その他の事業

- ・教育普及活動 こども彫刻教室（参加者61人）、彫刻教室（参加者15人）
- ・彫刻巡回展示事業 20校（小学校11校、中学校6校、小・中学校2校、盲学校1校）
- ・彫刻巡回展示出前授業 実施校14校（授業回数23回、参加児童生徒数520人）

【予 算 額】 4,455千円

（文化振興課彫刻美術館）

（3）野外彫刻維持管理事業

【始 期】 平成14年度

【内 容】 野外彫刻を良好な状態に維持管理するため、市民ボランティアによる清掃活動を行うとともに、亀裂や退色などの傷みの著しい作品を修復する。

【事業実績】

年度	区分	内 容	実績額（千円）
R 3		- 彫刻清掃ボランティア「旭川彫刻サポート隊」（会員 130人）の活動 - 清掃対象作品 76点 清掃活動 7回 - 作品の修復 1点 - 野外彫刻作品の安全点検 1点	717
R 4		- 彫刻清掃ボランティア「旭川彫刻サポート隊」（会員 99人）の活動 - 清掃対象作品 76点 清掃活動 7回	290
R 5		- 彫刻清掃ボランティア「旭川彫刻サポート隊」（会員 94人）の活動 - 清掃対象作品 76点 清掃活動 7回	263

【令和6年度事業計画】 予算額 366千円

- ・旭川彫刻サポート隊の清掃活動 7回
- ・野外彫刻作品の修繕等

(文化振興課彫刻美術館)